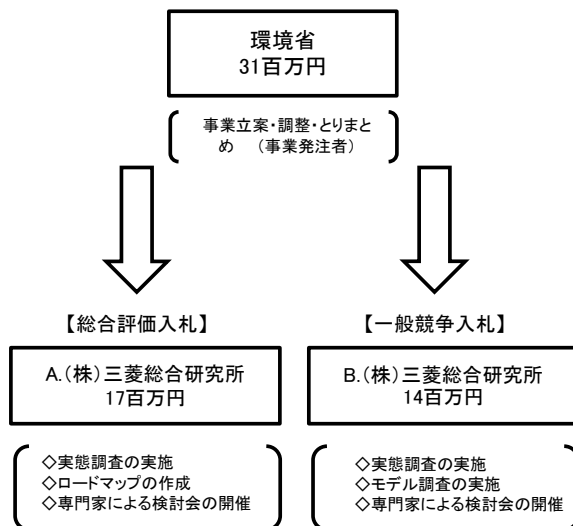


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	廃棄物系バイオマス利用推進事業		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23~24年度		担当課室	廃棄物対策課		廃棄物対策課長 山本 昌宏		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-3 一般廃棄物対策 (排出抑制・リサイクル・適正処理等)				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	バイオマス活用推進基本法第14条、第24条 循環型社会形成推進基本法第9条、第29条 等		関係する計画、通知等	循環型社会形成推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>廃棄物系バイオマスの利活用は、再生利用率の向上、最終処分量の減少、エネルギーの有効利用によるCO2削減等に寄与するため、循環型社会及び低炭素社会の形成推進の観点からも重要である。環境省では、バイオマスのリサイクル施設についても、循環型社会形成推進交付金による施設整備支援を行っているが、分別排出・収集運搬に係るコストや住民の協力等、依然として課題は多く、利用が十分に進んでいない状況にある。そこで、バイオマスの種類ごとに、平成21年に成立した「バイオマス利用推進基本法」に基づくバイオマス活用推進基本計画に定められる予定の目標を達成するための具体的な方策について検討を行うとともに、地域特性に応じた合理的かつ実現可能な廃棄物系バイオマスの大幅な利活用の促進を図ることを目的とする。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・バイオマス推進基本法に基づくバイオマス活用推進基本計画において、バイオマスの種類毎の利用率等の目標が定められる予定であるため、これらの目標を達成するために必要な技術や施策等のロードマップを作成する。 ・環境負荷(CO2、排水処理、悪臭、残渣最終処分量等)、資源の有効利用、経済性等の観点から、バイオマス利活用に係るコスト、温室効果ガス排出削減効果等の算定、ケーススタディを実施し、市町村に対して最新の技術動向を踏まえて、最適なバイオマス利活用技術を提示する。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	—	46	35	—	—	
		補正予算	—	—	0	—	—	
		繰越し等	—	—	0	—	—	
		計	—	46	35	—	—	
	執行額		—	21	31	—		—
執行率(%)		—	46%	89%	—		—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	ロードマップ策定や技術情報の提供を目的とする事業であるため、定量的な成果目標は存在しない。							
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ロードマップ策定や技術情報の提供を目的とする事業であるため、定量的な成果目標は存在しない。							
					( )	( )	( )	
単位当たりコスト	(円/ )			算出根拠				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査等委託費	—	—					
	計	—	—					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	「バイオマス利用推進基本法」に基づくバイオマス活用推進基本計画に定められる予定の目標を達成するため、国自らが行うものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価方式により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	最適なバイオマス活用技術も含めたロードマップを当初見込みどおりに完成させた。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度は、2者入札の結果、落札率99%で、もう1件を1者入札で81%で委託先を決定した。</li> <li>委託契約については、引き続き競争性のある契約を実施した。</li> <li>業務内容について、平成23年度は、基礎調査とロードマップの素案を完成させた。</li> <li>平成24年度は、平成23年度の基礎検討の成果を踏まえて、ロードマップを完成させ、廃棄物系バイオマス利活用を推進するような事業を行った。</li> </ul>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年	新23'005	平成24年	114

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)三菱総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査業務	12			
事業費	アンケート調査等	3			
一般管理費	調査業務	2			
計		17	計		0
B.(株)三菱総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査業務	10			
事業費	アンケート調査等	2			
一般管理費	調査業務	2			
計		14	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	廃棄物系バイオマス利用推進業務	17	2	99%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	市区町村における容器包装廃棄物の分別収集・選別保管費用に関する合理化手法検討調査委託業務	14	1	81%